

「茨城大学の法律経済学科についてもっと知りたい！」 そんな皆さんの質問にお答えします！

Q. 法律経済学科の学生の出身地と性別は、 どのようになっているの？

A. 茨城県内外出身者と男女の割合は半々で 多様性のある学びの場を提供しています！

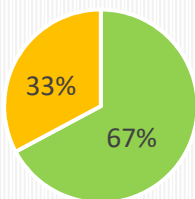


法律経済学科の受験を考えている皆さんにとって、どこの出身の学生が多いのか、男子学生と女子学生のどちらが多いのかも、気になるところでしょう。平成29年度に新設された法律経済学科には、まだ1年生しか在籍していません。したがって1年生の状況を見るだけでは、学生の出身地と性別の傾向を見るのに不十分です。そこで、旧社会科学科の学生のうち、法律経済学科の教員が担当するゼミに在籍する学生(3・4年生)と、在籍する予定の学生(2年生)の状況も含めて見ることで、学生の出身地と性別の大きまか傾向を見てみましょう。

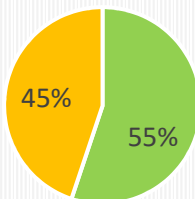
学生の出身地は、茨城県内外でだいたい半々で、毎年、留学生もいます。

学生の出身地については、平成29年度には、茨城県内出身者の割合が67%、県外出身者の割合が33%ということで、県内出身者が多かったです。しかし、平成26・27・28年度の状況も合わせて見てみると、例年、**茨城県内出身者・県外出身者の割合は半々**といったところでしょうか。県外出身者は、とくに千葉県・栃木県・福島県など近県出身が多いですが、北海道から沖縄県まで、日本中から来ています。また**毎年、海外からの留学生も**いて、平成29年度には、アゼルバイジャン、韓国、中国から留学生が来ました。

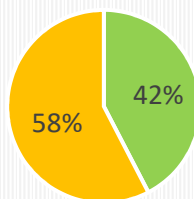
平成29年度



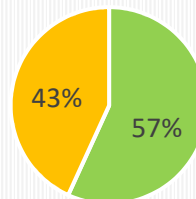
平成28年度



平成27年度



平成26年度



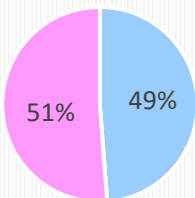
| | |
|---|---------|
| ■ | 茨城県内出身者 |
| ■ | 茨城県外出身者 |

平成26・27・28年度については、旧社会科学科の学生のうち、法律経済学科の教員が担当するゼミに所属する学生の割合を示します。

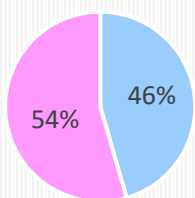
学生の性別は、男女でだいたい半々です。社会科学系の学科としては、女性の割合が高くなっています。

学生の性別については、平成29年度には、男性の割合が49%、女性の割合が51%ということで、だいたい半々でした。この傾向は、平成27年度に男性の割合が高くなっていることを除けば、例年見られるものとなっています。法律経済学科では、**社会科学系の学科としては、女子学生の割合が高くなっています**。公務員試験の受験など、将来の進路を考えて学科を選ぶ学生が多いからでしょう。

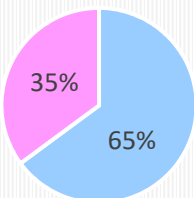
平成29年度



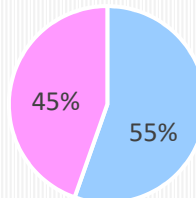
平成28年度



平成27年度



平成26年度



| | |
|---|------|
| ■ | 男子学生 |
| ■ | 女子学生 |

平成26・27・28年度については、旧社会科学科の学生のうち、法律経済学科の教員が担当するゼミに所属する学生の割合を示します。

学びの場には、多様性・ダイバーシティが不可欠です。法律経済学科では、外国も含めた様々な出身地の学生が、また男子学生も女子学生も、お互いの個性を尊重しながら多様性を実現できる学びの場を実現しています！

具体的な科目やメジャー・サブメジャー制など、より詳しい情報については、大学説明会などでお尋ねください。

学科のウェブサイトも訪問してください！ <http://www.hum.ibaraki.ac.jp/law-economics/index.htm>

茨城大学 人文社会科学部 法律経済学科